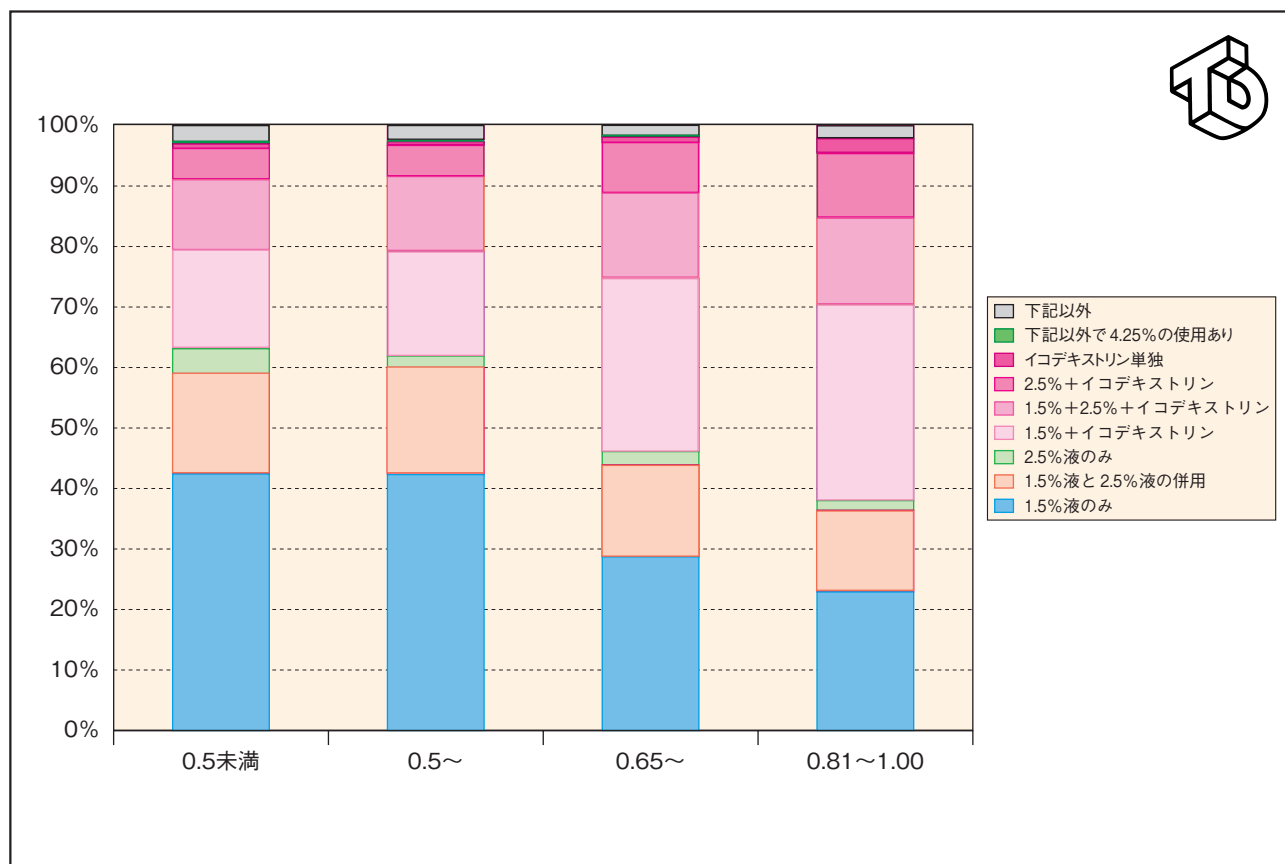


7) 腹膜透析調査

(8) 腹膜平衡試験 (PET) Cr D/P比4時間値と腹膜透析液の種類 (図表45)



使用透析液の種類	0.5未満	0.5 ~	0.65 ~	0.81 ~ 1.00	合計
1.5%液のみ (%)	123 (42.4)	420 (42.3)	303 (28.7)	85 (22.9)	931 (34.4)
1.5%液と2.5%液の併用 (%)	48 (16.6)	176 (17.7)	160 (15.2)	50 (13.5)	434 (16.0)
2.5%液のみ (%)	12 (4.1)	19 (1.9)	23 (2.2)	6 (1.6)	60 (2.2)
1.5%+イコデキストリン (%)	47 (16.2)	171 (17.2)	302 (28.6)	120 (32.3)	640 (23.6)
1.5%+2.5%+イコデキストリン (%)	34 (11.7)	123 (12.4)	149 (14.1)	53 (14.3)	359 (13.3)
2.5%+イコデキストリン (%)	15 (5.2)	52 (5.2)	89 (8.4)	40 (10.8)	196 (7.2)
イコデキストリン単独 (%)	2 (0.7)	6 (0.6)	9 (0.9)	9 (2.4)	26 (1.0)
上記以外で4.25%の使用あり (%)	1 (0.3)	2 (0.2)	1 (0.1)	0	4 (0.1)
上記以外 (%)	8 (2.8)	24 (2.4)	19 (1.8)	8 (2.2)	59 (2.2)
合計 (%)	290 (100.0)	993 (100.0)	1,055 (100.0)	371 (100.0)	2,709 (100.0)
不明	0	0	1	0	1
記載なし	7	19	15	4	45
総計	297	1,012	1,071	375	2,755

患者調査による集計

解説

PET Cr D/P比4時間値に記載のあった2,755例中使用透析液の種類に記載があった2,709例において、PETカテゴリによる使用透析液の違いを検討した。イコデキストリンの使用頻度は、PETカテゴリのLow, Low Average, High Average, Highの順に、33.8%、35.4%、52.0%、59.8%であり、Cr D/Pの上昇にともないイコデキストリンの使用頻度が増加した。